

さあ！テレビを消して、家族みんなで読書タイム

じゃあ、読もう。

読書の楽しみを広げよう！

本を読むことで心が豊かになり、言葉を理解する力もつきます。
おとなも子どもも、みんな一緒にたくさんの本を読みましょう！
現在与論町では、4つの読み聞かせボランティアグループが活動していますが、そのなかのひとつ、「芭蕉布」の活動をご紹介します。

2010
国民読書年

平成20年6月の国会決議により、2010年を「国民読書年」とすることが定められました。



▲「芭蕉布」メンバーのみなさん

茶花小学校では、朝の読書タイムに、ボランティアグループ「芭蕉布」による読み聞かせを行っています。
現在、芭蕉布のメンバーは6名。それぞれ出勤前や介護の合間に茶花小学校に通い、子どもたちに読み聞かせをしています。
昨年度は、新型インフルエンザ流行の影響で一時期お休みをしましたが、全学年、一年間を通して、289冊の本の読み聞かせをしました。

Q. 芭蕉布の目的は？

『本を好きな子どもたちになってもらいたい。』『読み聞かせの時間を学校生活での「楽しみの一つ」にしてもらいたい。』の2点を目的としています。

Q. どのような本を 読んでいるの？

主に絵本を読みます。
他に、児童書を朗読したり、与論の昔話「大泥棒クニマサマニユ」や、与論の昔話を創作した絵本「クサビの織姫」なども読んだりします。
読む本は主に、茶花小学校の図書室から選んでいます。
これは、子どもたちが、読み聞かせをした本に興味をもったら、すぐに図書室で手に取ることができるようにするためです。

Q. 子どもたちの反応は？

読み聞かせをする教室へ向かって歩いて行くと、廊下に顔を出して待っている子どもが「来たよ！」と他の子どもたちに教えるほど、とても楽しみにしているようです。
もちろん、読み聞かせをする私たちも、いつも楽しんで読んでいます。
毎年3月に卒業する6年生からたくさんのお手紙をいただきます。どの手紙にも感謝の言葉があふれ、「中学生になったらもっと読書をした」と書かれていました。

Q. 学校との連携は？

芭蕉布は活動を続けて5年になります。そして、この活動を円滑に進めるために、受け入れ側の茶花小学校とも会合を開き意見交換もしています。先生方の理解と協力があつてこそ出来る活動です。
これからも学校と連携して活動していきたいです。

Q. 今後はどんな活動を？

子どもたちを本好きにするには、いろいろな本をたくさん紹介して、本の中で繰り広げられる世界を体験させ、本のおもしろさを知ってもらうことです。これから子どもたちと本との架け橋になりたいと考えています。

中学校図書室 司書 斉藤しづ子さんからひと言

5年前、図書室巡回の仕事をする中で、本に親しみが持てない子どもたちがかかりいると感じました。

そこで、子どもたちが本の楽しさを知り、本を手取るきっかけをつくることができればと、絵本読み聞かせボランティア「芭蕉布」の活動を始めました。

活動をする中で、私自身も読み聞かせを聞いている子どもたちの笑顔に出会うことができました。

ぜひ、ご家庭でも読み聞かせをしてみませんか？

あなたとお子さんの
楽しい時間になるでしょう！



▲読み聞かせが始まると、子どもたちは、あっという間に絵本の世界へ！

与論小学校では「本ゆみゆる会」、那間小学校では保護者の方々が朝の読み聞かせの活動をしています。